

次世代エネルギーワークショップ(2016年度) —東京—

～30年後のエネルギー選択を考える～

日時： 2017年2月24日(金) 14:00 ～ 17:40

2017年2月25日(土) 9:00 ～ 16:30

場所： 上智大学四ツ谷キャンパス2号館17階会議場

主催： エネルギーワークショップ実行委員会

共催： 上智大学地球環境研究所
一般社団法人 環境政策対話研究所

後援： 文部科学省、環境省、資源エネルギー庁
三井物産株式会社
特定非営利活動法人 持続可能な開発のための教育推進会議 (ESD-J)

協力： 公益財団法人 地球環境戦略研究機関
一般社団法人 太陽光発電協会
一般社団法人 日本原子力産業協会
一般社団法人 日本風力発電協会
一般社団法人 日本電機工業会

ワークショップのねらい：

エネルギー問題は、経済、環境、安全、国際関係、技術等が絡んだ複雑な問題です。2011年3月の東日本大震災に伴う原子力発電所の事故をきっかけに、エネルギー選択に関わる議論が時代の大きな要請となりました。加えて、パリ協定が2015年12月に採択、2016年11月に発効され、温室効果ガス大幅削減のためにも、長期的視野に立ったエネルギー選択の議論が益々重要となっています。

この長期を展望した課題解決には、未来社会の主役である若い世代の積極的な参加が必須です。『次世代エネルギーワークショップ』は、その議論の場を提供し、議論の実践を行う試みです。

参加学校： 23校

参加学生： 40名

(男性21名;女性19名、学部生25名;大学院生12名:高専生3名、留学生2名)

北海道大学 北海道教育大学 福島大学 筑波大学
宇都宮大学 お茶ノ水女子大学 慶応義塾大学 聖心女子大学
芝浦工業大学 上智大学 東京工業大学 東京農工大学
東京都市大学 横浜市立大学 都留文科大学 新潟県立大学
京都大学 大阪大学 高知大学 九州大学
福島工業高等専門学校 富山高等専門学校 香川高等専門学校

本事業は、三井物産環境基金の助成を受けて実施するものです。

また、プログラムの開発は、実行委員会に結集する研究者と株式会社博報堂合意支援プログラム「わかりあい」及び「博報堂ブランドデザイン」の連携の下に行われました。

プログラム

1 日目(2 月 24 日)

13:30	受付 参加学生は、予め決められた席に着席(所属、男女、学年等を配慮して構成された6つのグループに分かれる) ワークショップへの参加に当たっての連絡・注意事項	総合司会 太田美代((一社)環境政策対話研究所理事)
14:00	開会 開会の挨拶 全体オリエンテーション エネルギーワークショップ実行委員会委員長 柳下正治	
14:20	ウォーミングアップ	以下、進行はファシリテーター(FA)
14:30	エネルギー問題に関する知識の習得 ●専門家によるレクチャー 高橋 洋 (エネルギー政策の系譜) 木村 浩 (エネルギー各論) 渡邊理絵 (温暖化・気候政策)	情報資料集の活用
15:00	グループ作業 事前学習と、専門家のレクチャーを踏まえて ①理解を深める ②レクチャーを聞いての気付き、質問づくり(1班2問)	付箋、ホワイトボード、模造紙の活用 質問の作成
—休憩— 事務局側では、提出された質問の整理		
15:50	専門家とのQ&Aセッション……知識の共有 が目標 質問の趣旨の説明 専門家より回答	
16:40	ワークショップの進行における「社会シナリオ」と「視点」 柳下正治	情報資料集の活用
17:00	グループの編成 —類似価値観グループの形成— 「5つの未来像」「8つの視点」を用いて個人の価値観を表出 ①ダイヤモンドグラムの記入 ②類似価値観グループの形成 ③自己紹介、グループ名を考える	ダイヤモンドグラムの活用
17:30	討議直前のアンケートの実施	アンケート用紙に記入
17:40	初日終了	終了後、全員の記念撮影
18 時頃から懇親会 (会費制・19 時 30 分頃解散) 参加者間の交流		場所: 上智大学教職員食堂 (2 号館 5 階) 原則として全員参加が望まれます。

5 つの未来社会像	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ものづくり統括拠点社会 ➤ メイドインジャパン社会 ➤ サービスブランド社会 ➤ 資源自立社会 ➤ 分かち合い社会 	8 つの視点	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 経済効率性 ➤ エネルギー安全保障 ➤ 環境 ➤ 安全性 ➤ エネルギーイノベーション ➤ グリーンエコノミーの追求 ➤ 世代間公平 ➤ 地域との関わり
-----------	---	--------	---

2日目(2月25日)

8:30	受付開始	
9:00	再確認オリエンテーション	進行はFA
9:10	グループ討議Ⅰ(類似価値観グループ) ➡(A)エネルギー選択に関する討議結果一次案(模造紙)	付箋、ホワイトボード、模造紙の活用
10:10	エネルギー・シミュレーションの実施(類似価値観グループ) (1)オリエンテーション(芦名秀一) (2)シミュレーション入力 ・討議結果に基づき入力データをシートに記入し、パソコンに入力 ・パソコン計算結果に基づき、(B)シミュレーション報告シートの作成	PPTの活用 グループごとにシミュレーションの実施
—休憩—		
11:10	エネルギー・シミュレーションの結果の振返り (1)振返り(シミュレーション結果の解説、エネルギー選択にどう活かすか) (2)専門家に対する質問づくり (3)専門家とのQ&A(質問の趣旨の説明、専門家からの回答・助言等)	
12:00	グループ討議Ⅱ(類似価値観グループ) ➡(C)エネルギー選択に関する討議結果二次案(C)の作成	必要に応じシミュレーションの実施 一次案(A)を修正
12:40	グループの再編成 —異価値観グループの形成—	各グループ一人(代表者)が残り、それ以外の者は他グループに移動
—昼食— 2号館4階415号室へ参加学生は一齐移動(お弁当あり) 異価値観グループごとに自己紹介しながら		昼食後、貼り出された各グループの二次案を巡覧
13:30	グループ討議Ⅲ(異価値観グループ) 互いの価値観や重視点の違いを知りあい、エネルギー選択の洞察を深める 意見をしっかりと伝え、他者の意見を敬意をもって聞き、意見交換 (1)代表者がここまでのエネルギー選択の案を発表 (2)各メンバーが付箋を使って意見表明(共通点、相違点とその理由) ⇒代表者はコメント (3)出された相違点をもとに、話し合いたいピックを一つ決め、発表する (4)グループ内の対話(相違点が何によるものなのか)	貼り出された二次案(C)を活用 付箋、ホワイトボード、模造紙の活用
14:30	グループ討議Ⅳ(類似価値観グループ) メンバーは異価値観グループでの討議から気づきを持ち帰り討議 ➡エネルギー選択に関する討議結果最終案	必要に応じ、専門家に質問 二次案(C)に赤字修正、又は新規に
—休憩 兼 プレゼンテーションの準備—		
15:20	発表(グループ代表による)……最終案、討議の変遷、気づきと発見等	ボードに貼り出された模造紙を活用
16:00	講評 専門家	
16:15	ワークショップ終了後のアンケートの実施	アンケート用紙に記入
16:25	閉会挨拶 終了・解散	

ワークショップの成果

- ① 30年後の日本社会の電源構成
- ② 前提とした検討事項
 - ・目指すべき未来社会像
 - ・エネルギー選択において大事にした視点(こだわること、負ってもよい不利益)
 - ・将来の電力の総需要量
- ③ 考察
 - ・一次案から最終案までの検討で得られた気づきと発見
 - ・討議における論点/争点や残された課題

専門家

木村 浩 (NPO 法人パブリック・アウトリーチ 研究企画部研究統括)
高橋 洋 (都留文科大学文学部社会学科 教授)
渡邊 理絵 (新潟県立大学国際地域学部国際地域学科 准教授)
柳下 正治 ((一社)環境政策対話研究所 代表理事、上智大学 客員教授)

ファシリテーター

庄嶋 孝広 (市民社会パートナーズ 代表)
<補佐> 兎洞 武揚(株)博報堂 シニアコンサルタント/組織開発ファシリテーター)

エネルギーシミュレーション開発に関わる専門家

芦名 秀一 (国立開発研究法人国立環境研究所 シニアリサーチャー)

総合司会

太田 美代 ((一社)環境政策対話研究所 理事)

エネルギーワークショップ実行委員会(メンバー)

織 朱實 (上智大学大学院教授)
木村 浩 (NPO 法人パブリック・アウトリーチ 研究企画部研究統括)
佐藤真久 (東京都市大学教授)
藤木勇光 (電源開発株式会社 秘書広報部)
前田洋枝 (南山大学准教授)
(委員長) 柳下正治 ((一社)環境政策対話研究所 代表理事、上智大学 客員教授)
山下紀明 (NPO 法人環境エネルギー政策研究所)



エネルギーワークショップ実行委員会事務局

上智大学 地球環境研究所 環境政策対話推進センター
担当: 植田 朋子
〒102-0081 東京都千代田区四番町4(上智大学市ヶ谷キャンパス)
Tel: 03-3238-4088 e-mail: sophia.ngews@gmail.com